

平成19年9月13日  
有機合成薬品工業株式会社

## 日経産業新聞当社関連記事の件

9月12日付の日経産業新聞医療・バイオ欄で当社に関連する記事が掲載されましたが、その内容で事実と反する箇所がありますので、記事文責の佐藤昌和記者に連絡をおこなうとともに、下記のとおり当社の見解をお知らせします。

### 記

1. 記事の中で「翌月（本年5月）の取締役会では逆に、西本氏ら医薬事業に精通するJT出身の取締役3人の解任が決まった」、「前社長ら医薬事業に精通する取締役3人が6月に解任された」とありますが、本年5月の当社取締役会においては、取締役任期満了に伴う役員選任議案が審議され、西本氏の取締役会長就任ならびに2名の取締役の退任が内定し、6月の定時株主総会において、正式に決定しております。その後、8月21日付で西本氏は会長職を解かれましたが、現在も当社の取締役であります。
2. また、山田社長の発言として「他社の特許を回避する合成法や分析法の開発が必要な後発薬の原薬を単独で手掛けるには全研究者を動員しても間に合わない」とありますが、取材に対しては「後発薬は他社の特許を回避する合成法や分析法の開発が必要な厳しい分野である。当社は後発薬に全ての経営資源を投入することはできない。化成品にも力を入れながらバランス良く成長を目指したい。」とお話しています。

以上

### （当社の中期成長戦略）

本年度を起点とする3カ年の中期経営計画では、新たなる成長戦略を遂行すべく、①既存コア事業ならびに受託事業の拡大、②海外拠点を利用した輸出品の販売強化、③先端・成長分野への進出を通じた新製品の創出等に注力していく予定です。

具体的には当社の主たる事業領域である工業薬品・化成品分野での展開に軸足を置きつつ、当社の得意とする合成技術が活かせる医薬品原薬・中間体分野での強化を目指すことを基本に今後の展開を図る方針です。例えば、シアノピリジン関連の中核誘導体の品揃えや珪素事業の深化などです。医薬品原薬については、中期経営計画においても戦略強化領域としていますが、治験薬の受託など当社の責任と役割が明確な事業にウエイトを置きたいと考えています。

中期経営計画の最終年度の数値目標は、売上高120億円、経常利益6.5億円、ROE3.2%であります。